

## ヨーロッパ：電力卸売市場の統合に向けた動きが進展<sup>1</sup>

新エネルギー・国際協力支援ユニット

新エネルギーグループ

欧洲委員会は 2014 年を目指としてヨーロッパ全域をカバーする単一の電力市場を形成するという目標を設定し、既に幾つかの地域では国境をまたぐ電力卸売市場も形成されている。本年 2 月、幾つかの電力卸売市場の間で、取引をより効率的に行えるような整備が行われ、ヨーロッパ全域をカバーする単一の電力市場の形成に向けた動きが進展した。

一つは APX (オランダ)、Belpex (ベルギー)、EPEX Spot (ドイツ・フランス・オーストア・スイス)、Nord Pool Spot (ノルウェー・デンマーク・スウェーデン・フィンランド・バルト 3 国) の市場間で、前日スポット取引 (Day ahead trading) の進め方を同一手順で同時に実施し、異なる市場間での取引をスムースにする動き<sup>2</sup>である。

もう一つは上記 4 市場に OMIE (スペイン・ポルトガル) を加えた市場間で、当日リアルタイム取引 (Intraday trading) をより迅速に余分のコストをかけずに実施できるよう、今後整備することで合意したものである<sup>3</sup>。当日リアルタイム取引は前日スポット取引で確定した電力需要者の需要予定、および、電力供給者の供給予定からの当日におけるズレを最終的に調節する役目を負っている。

ヨーロッパ全域をカバーする単一の電力市場の形成は、オープンで公正な競争に基づき、再生可能エネルギー電力を含む電力供給の費用対効果を高め、また、安定供給を図ることを目的としている。

ヨーロッパ各国はこれまで助成金によって再生可能エネルギー電力の導入を推進してきたが、導入費用負担の増大という問題に直面し、今後は化石燃料発電など他の電源も含む市場メカニズムによって導入を図る流れに転じつつある。電力市場は需要と供給に基づく価格シグナルを示すことから、より多くの市場関係者が参加する大きな電力市場の形成は

<sup>1</sup> 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業（海外省エネ等動向調査）」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

<sup>2</sup>

<http://www.nordpoolspot.com/Message-center-container/Exchange-list/2014/02/No-052014---?year=2014&quarter=1> 参照

<sup>3</sup>

<http://www.nordpoolspot.com/Message-center-container/Exchange-list/2014/02/No-092014---Power-exchanges-agree-on-the-European-cross-borderintraday-solution/?year=2014&quarter=1> 参照

適切な電力価格の形成に貢献し、再生可能エネルギー電力導入についてもコスト効率の改善に役立つものと考えられている。

お問い合わせ : report@tky. ieej. or. jp